

戦争のころ、日本にやってきた韓国人の祖父。

松江勇吉(劉忠植)の最後の言葉は

『哲明バカヤロ〜』だった。

そのことに

涙を痛んだ

哲明(21)は、

韓国と

祖父のことを

猛然と

調べ始める。

キムチが食べられない

孫(三世)の視点で、

韓国系日本人の家族のルーツをたどる

笑いと涙の記録。

映画祭で絶賛の嵐!!!!!!

1999年 韓日青少年映画祭・監督賞受賞

1999年 山形国際ドキュメンタリー映画祭アジア千波万波・特別賞&MIPAC(最優秀アジア映画)特別賞受賞

1999年 東京国際映画祭・ニッポンシネマ・ナウ出品

1999年 ソウルドキュメンタリー映画祭フォーカス・オン・ジャパン出品

2000年 香港国際映画祭出品

2000年 スイス・ニヨン国際ドキュメンタリー映画祭出品

松江哲明 監督作品

안녕 김치

annyong-kimchi

1999年 / 日本語・韓国語 / カラー / 52分

制作: 山谷哲夫 / プロデューサー: 吉田啓 / 撮影: 茂木一樹、松江哲明 / 編集: 吉田啓、関正則 / 音楽: 岡野作夢 / 構成: 中井大

製作: 日本映画学校 / 配給: OFPIC ぽんきち / 配給協力: ビターズ・エンド

あんにょんキムチ

anyong-kimchi 安녕김치

キムチが食べられない「在日コリアン」が描く愛すべき人たち

松江哲明(21)は最近悩んでいる。戦争のころ日本にやってきた韓国人の祖父・松江勇吉(劉忠植)のことが原因だ。祖父の最後の言葉は「哲明ベカヤロー!」だった。そのことに気を病んだ哲明は韓国と祖父のことを猛然と調べ始める。友人たちに自分が韓国人であることを告白したり、大嫌いなキムチを食べようと必死になつたり……。祖父を中心に、韓国系日本人の家族が歩んできた歴史や現在を、孫(三世)の視点でたどる笑いと涙の記録。



監督：松江哲明
1999年、日本語・韓国語
カラー、52分
製作：日本映画学校
配給：OFFICE きむち
配給協力：ビタース・エント
<http://www.bitters.co.jp/>

『あんにょんキムチ』のこと。

松江哲明

多くの家にはいつもキムチがあった。なぜなら、ぼくたちは日本に「帰化」しているが、韓国人の血を引く「在日コリアン」だからだ。家族は自家製キムチを食卓には欠かさず用意し、美味しくそこに食べていた。

しかし、ぼくはキムチが嫌いだった。あの匂いと唐辛子の辛さにはどうしても耐えられない。

また、ぼくにとって韓国といえばキムチ。その為か自然と、韓国のイメージが田舎臭い、キムチ臭いといった「臭い」というものになった。はつきり言って、多くの韓国に対する印象は悪かった。そして、TVや新聞で「強制連行」「従軍慰安婦」といった言葉を見つける度に、理由もなく不安になった。だから

あんにょんキムチ

こそ、自分の中で一方的に「韓国」を拒絶してきた。ぼくは、自分の体に流れる韓国の血を認めたくなかった。とりあえず、普通に生活し、学校に通って、適当に勉強をしてテストを受ける。友達と遊んで、映画を見て、たまにバイトをして、何も問題は無かった。その頃は「在日コリアン」という、難しそうで面倒臭そうなものは、意識しないように生きてきた。

しかし映画学校に入り、ぼくはやたらと人に「ぼくって在日コリアンなんすよ」などと言っていた。この学校ではそういった人間は興味を持たれ、話のネタにもなる。自己紹介をするには、非常に便利だった。今まで人に言えなかった分、その反動が大きかったのかもしれない。そして、ドキュメンタリーを専攻し、卒業制作を始めるという時に、ぼくはこれまで避けてきた「在日コリアン」というネタを持ってきた。今、やらなければ、一生撮れないと思った。避けてきた「在日コリアン」だ。

あんにょんキムチ

ン」だからこそ、本当に好きになるまで、もしくは徹底的に嫌いになるまで付き合ってみようと思った。カメラを持つと、多くの周囲には強制連行、従軍慰安婦、差別問題といった、かつてTVや本で見た「不幸な在日コリアン」はいなかった。ぼくが撮影したのは、御飯を食べることや毎日の生活に精一杯な、お調子者な愛すべき人たちだ。このあつげらんとした気持ち良さ、これがぼくにとっての「在日コリアン」だ。

そして、ぼくは彼らからいっぱい元気ももらった。韓国で「アンニョン」という言葉に、「こんにちは」と「さようなら」の意味があることを知った。キムチが大嫌いなぼくにとって、この言葉はぼくにあって、今はまだ「こんにちはは、皮肉なタイトル「あんにょんキムチ」」。この言葉はぼくにあって、今はまだ「こんにちはは韓国」だが、いつかは「さようなら韓国」になるかもしれない。

あんにょんキムチ

各国の映画祭で絶賛の嵐!!

- 1999年 韓国青少年映画祭 監督賞受賞
- 1999年 山形国際ドキュメンタリー映画祭アジア千波万波・特別賞&NETPAC(最優秀アジア映画)特別賞受賞
- 1999年 東京国際映画祭・ニッポン・シネマナウ出品
- 1999年 ソウルドキュメンタリー映画祭フォーカス・オン・ジャパン出品
- 2000年 香港国際映画祭出品
- 2000年 スイス・ニヨン国際ドキュメンタリー映画祭出品



☆ 在日三世の自分探し…。『あんにょんキムチ』 松江哲明 著 7月15日発売 1,300円(本体) 沙文社刊 (TEL03-3815-8421)



12月9日(土)～12月22日(金)

あんにょんキムチ▶ロードショー上映!!

11:00/2:15/5:30

あんにょんキムチ料金/前売券1200円(当日一般1500円/学生1300円処)

韓国映画界異端児チャン・ソヌ監督作品
BAD MOVIE/バッドムービー

同期間中公開!!
12:05/3:20/6:35



ホワイティ梅田泉の広場M-10右とがる東へ5分
扇町ミュージアムスクエア
06-6361-0088 www.oms.gr.jp